

# かえる便り 27年度11号

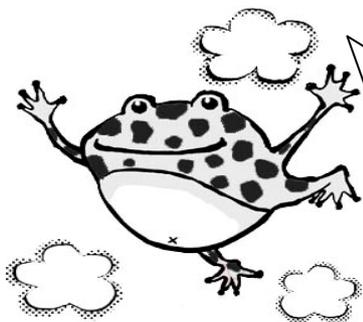
平成27年7月16日

盛夏の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

私が小学生の頃、労働組合による賃上げ闘争＝“春闘”が大変激しく、乱闘のような騒動が日々テレビで放映されていたことを思い出します。石見交通は第一組合と第二組合があり、どちらがどうか分かりませんが強硬派がストをするために、穏便派の組合が通勤通学の足を確保することがあったように思います。

“田中正造”翁は、足尾銅山の鉍毒問題解決のために半生を捧げた人物です。彼はこの問題解決のために多くの時間と財産を注ぎこんでいます。結婚後、夫婦で家庭生活を過ごした時間は1カ月もないのではないかとされています。それほどまでして彼を突き動かしたのは、何だったのでしょうか？

組合運動も、正造翁も“よりよくしたい”という想いであったことは間違いないと思います。但し、“何をよくしたいのか”ということとは大きく違っています。



義人：自分の利害をかえりみずに他人のために尽くす人。“正造翁”のような人は、本当に稀な存在です。私達が学び職業を選択するのは、自身の特性や興味等から将来の生活設計を考えての事だと思います。サッカーは集団スポーツです。組織の目標を達成するために、責任と義務を果たせる青年を育成したいと思います。“義と仁”を大切にすることから“信”が得られますね！

誰しも、“よりよい〇〇”を目指したいと思います。私も部員の皆が少しでもよい人生を送れるように手助けができればと思っています。先日、栄養講習会を開催しました。高校生で運動をする人は、多くのエネルギーが必要です。何故なら、“生命の維持”と“成長”に加え“激しい運動”をするためのエネルギーが必要だからです。サッカー選手は、一般の人に比べ2～2.5倍のエネルギーが必要になります。必要な栄養素や運動と食事時間の関係などを教えていただきました。1時間半の講習ですが、部員が自分をより高めるための一助にしてくれればと思います。

成功する人に共通していることは、“歩くことや行動が速い”ことです。時間を有効につかい、行動を素早くすることが出来る人は、“質を高める”ことができる人です。ならば、何事も素早い人と一緒に仕事がしたいですね。